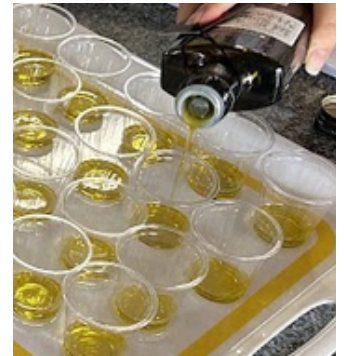


国東オリーブの「今」を伝えます！

第10号くにさきオリーブだより



8/23 第2回すてき！だいすき！くにさき！ オリーブセミナーを開催しました



昨年度に引き続き*JOOTA認定オリーブオイルテイスター青木絵麻先生を講師に迎え『知っていますか？オリーブオイルのこと』～今日から使える油の知識～についてお話いただきました。基礎知識～新情報まで更にアップデートされたオリーブオイルについての知識を深めることができました。

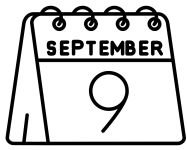
講話後は、国東産と海外産の違いがわかるオリーブオイルテイスティング、大分の空むさし特製の「野菜ピザ」と「冠地どりピザ」2種とソフトクリームに国東オリーブオイルをかけて贅沢に堪能しました。

ソフトクリーム×オリーブオイルを楽しまれた会場では、
「ぜひ、商品化してほしい！」などの大変有難いお言葉をいただきました。



ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました！

会場提供をいただきました「大分の空むさし様」にも感謝申し上げます ✨



9・10 園地栽培指導を行いました！

苗木購入補助を受け、オリーブを育てている園地にて栽培指導を行いました。今回は「防除」の徹底管理の他、日頃の栽培管理に関する疑問点などを受け、指導させていただきました。

質問の多かった内容

- ・ 剪定のタイミングがわからない→基本冬（収穫後）講習会開催あり
- ・ 干ばつが続き、元気がない→今年は特に灌水が必要だった
- ・ 昨年と比較して実のつきが悪い→隔年結果か品種間相性の関係が原因と予想



国東オリーブ振興協議会では、直接栽培指導を行っています。

指導を希望の方は下記事務局まで連絡ください。

※出荷を目指した指導内容となります。



オリーブ果実出荷について



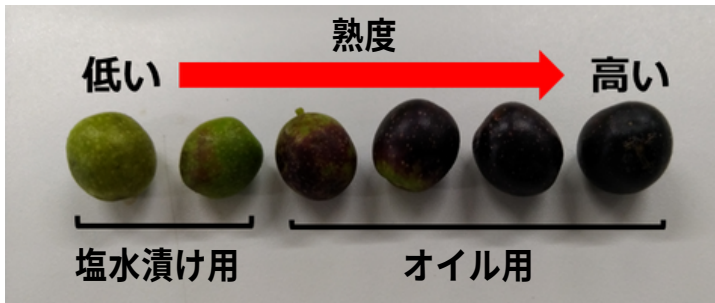
収穫は一部の品種が9月下旬から塩水漬け用に出荷されますが、国東は収穫量の95%以上がオイル用となります。

オイル用は10月中旬から11月上旬です。収穫した果実は24時間以内に搾油するため、出荷日はあらかじめ決まっています。
(1年のうち10月～11月の期間に10回程度)



果実は1キログラムから出荷できます。初めて収穫を行う方はJAおおいた東部エリア園芸課 ☎0978-72-0617までお問合せ下さい

熟度による出荷基準



炭疽病が入った果実



⚠ 炭疽病が入っている果実は出荷できません

収穫しない場合は果実を取り除きましょう！

樹に果実が残ったまま放っておくと2つの問題点があります
可能な限り、**果実は取り除く**ようにしましょう。

✓ 来年実がなりにくくなる

実らせたままにすると樹はエネルギーを消費して大きな負担となります。結果、翌年の実がなりにくくなります。

✓ 病気の感染リスクの上昇➡

実の中には病気のものが含まれています。
残すことで翌年の伝染源となることがあります。



効率的な収穫方法



国東推奨品種「アルベキナ」

オリーブは果実が小さく、手作業による収穫は非常に時間を要する品目です。

特に病気に強く、収量が多い品種は実が小さい傾向にあります。収穫かごだけではなく、他の道具を効果的に使うことで、収穫効率を良くすることが可能です。

樹の下に設置する

ブルーシートや防風ネット等の大きく広がる道具



ブルーシートは低コスト、
実を落とす作業は不慣れな人でも行える

使い方：樹の根元から枝先までに設置して、
実を枝から外すように落としていく

集草袋等の、大きく広がる直立した箱



設置が安易、サイズの選択も多い

使い方：実がある箇所の真下に設置し、
実を落としていく

手の代わりになる道具

熊手（オリーブ専用の道具）



手で行うより効率が良い

使い方：実がある箇所を熊手で搔く子どもが
潮干狩りの時に使うようなサイズ

効率的な収穫方法

収穫機械

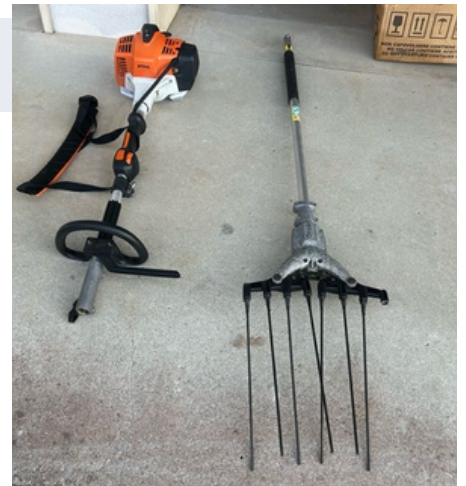


草刈り機のような形状をしています、先端が実を落とすための形状になっています。1本で10kg以上収穫が行えるような樹であれば、収穫効率は大きく上昇します。先端の形状により2種類がありますが、どちらも事前に木の下にシートやネットを張ることが必須となります。

①レーキタイプ

先端が複数本の細い棒状で、左右に揺れることで実をたたき落とす

利点：通常の草刈り機より軽く、女性や高齢者でも使用可能
品種や熟度による差が少なく落ちる



②シェイカータイプ

先端がフック上になっているので枝を引っ掛けて、揺らして落とす

利点：熟した実は非常によく落ち、5分の機械作業で10kg以上収穫できる



機械の貸し出しは
振興協議会で行っています
事務局までお問い合わせください



国東オリーブ振興協議会事務局
国東市役所農政課園芸畜産係
☎0978-72-5167

秋の栽培管理について 収穫時期と重なりますが、施肥を行いましょう



今年実がならず、葉が多く茂っている成木は、
秋肥の量を減少させるか、まかないように調整しましょう。

くにさきオリーブ秋肥の基礎

施肥時期	10月下旬。肥料は効かせたい時期が決まっているので、散布時期を守る 散布が遅くなると、気温が低くなり肥料の効きが遅くなるので注意する	
資材名	S280（窒素12：リン8：カリ10）その他微量元素入り	
施肥量	植え付け 1～3年	1本辺り0.15kg
	植え付け 4～9年	1本辺り0.6kg
	植え付け10年以上	1本辺り0.9kg
散布方法	枝の外縁に沿って散布する 生育中の根の先端が枝の外縁と同じ程度の位置	
効果	着果によって失った養分の補給 来年の花の準備	



オリーブアナアキゾウムシの防除をしましょう



根元にゾウムシが入った形跡の
おがくずと小さな穴が見られ
穴を掘るとゾウムシの幼虫がいます

近年ゾウムシの活動期間が長くなり、
12月まで生育を確認する事例が相次いでいます。
スミチオン乳剤を使用し、防除を行いましょう。
既に3回使用している人は他の薬剤を使用して下さい

目安は収穫の終わる **11月中旬** です。
収穫のない人でも防除してください。

薬剤名	倍率	使用方法	使用回数
スミチオン乳剤	50倍	樹幹散布	3回/年
ダントツ水和剤	2,000倍	全体散布	2回/年
アディオン水和剤	2,000倍	全体散布	2回/年